

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2024年12月19日

12月19日（木）、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、8月に本研究所に着任されました 先端がん治療研究分野 谷口博昭先生による、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、PRDM14（がん幹細胞を特徴づける転写因子）を標的とする核酸医薬の開発過程から臨床試験に至るまで、谷口先生が取り組まれてきたトランスレーショナルリサーチの現場について臨場感あふれるご説明をいただきました。また、理工医の連携によるオフターゲット効果を回避するRNA-DNA hybrid siRNAの改良と、それを届けるドラッグデリバリーシステムの開発を基盤として、現在進行中の変異遺伝子や複数のドライバー遺伝子を標的とする新しいタイプの siRNA を用いた実験など、これからのがん治療にインパクトを与える研究を紹介していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等28名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



学際的研究でがんの制圧を目指す

～抗がんsiRNA医薬の開発の実際と展望～

To Control Cancer Through Interdisciplinary Research
– The development of siRNA therapeutics against
cancer, and their prospects –

NEW Professor!

金沢大学がん進展制御研究所
先端がん治療研究分野 教授

谷口 博 昭 先生

Prof. TANIGUCHI Hiroaki

Division of Innovative Cancer
Control Research, KU-CRI

がん幹細胞を特徴付ける転写因子の一つであるPRDM14を治療標的とするため、遺伝子の配列情報から創薬できるsiRNAをモダニティーとした開発研究に乗り出したが、克服すべき多くの問題が累積していた。特に大きな障壁となったのは、十分な on target と off target 効果が回避できる配列設計、さらに、siRNAを病変局所に届けるデリバリーシステム（DDS）の開発であった。理・工・医の研究者が連携し、PRDM14 chimera siRNAとDDSであるY-shaped blocked cationomer (YBC) の複合体である PRDM14 uPIC の開発に至った。非臨床試験、治験薬の製剤化を経て、今年10月に癌研有明病院での First in human 治験を完遂した。

本セミナーでは上記の開発過程の実際を紹介するとともに、現在、開発に着手している抗がんsiRNA医薬の一端を紹介する。

開催日: 2024年12月19日(木)

Date: Dec 19, 2024 (Thu.)

時間: 17:00 - 18:00

Time: 5:00 - 6:00 p.m.

場所: 金沢大学がん進展制御研究所
4階会議室

Venue: 4F Conference Room, CRI

※ The seminar will be conducted in Japanese with presentation slides in English, and participants can engage in Q&A in either Japanese or English.